

今、必要なのは
「自分で考える力」
何もない無人島での一週間が
子どもたちを育てます



第15回参加者の声

今自分の中で強くなりたい、もっと自分の中で自信をつけたいと思っている人は、とってもいい経験なのでぜひ行って欲しいです。もし行こうと少しでも思ったらそれは素晴らしい事だと思います！頑張ってください！

第15回保護者の声

わざわざ子どもに辛い体験をさせる必要があるのかと言う意見も周囲にはありました。やはり無人島のあの環境に置かれないうと、感じるこのできないことが沢山あり、子どもにとっては精神的に大きく成長する機会になったと思います。可愛い子には旅をさせよ。この言葉がピッタリの企画で、ご縁をいただいたことに感謝しています。

生きるために必要なことは
全て無人島が教えてくれる

NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長 山崎 清治



第16回
無人島学校
むじんとうがっこう
一週間自給自足生活挑戦

受講期間：2022年7月23日～11月末

(無人島学校本番：2022年8月14日(日)～21日(日)7泊8日)



Youtube生配信「無人島チャンネル」
5/28日～6/18日
毎週土曜日 18:00～18:30 配信

エントリー・作文・動画提出締切 **6/25日**

申込前オンライン個別相談会 **6/12日・6/18日**
事前申込要 参加無料 9:00～15:00 11:00～15:00

感染症対策について

無人島学校ではマスク着用や手指消毒等、団体規定の新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施いたします。
<https://www.challenge.shosapo.jp/ci/kansen>



無人島学校～一週間自給自足生活挑戦～とは

電気なし、水道なし、建物なし、持ち込む食料は水とお米と調味料のみ。

無人島に渡り、一週間「生きる」ことをテーマに過ごすプログラムです。

2007年から毎年夏休みに実施している無人島学校には、現在まで述べ1000人以上が参加しています。

無人島生活で、子どもたちにサバイバル力やアウトドア技術を身に付けてほしい訳ではありません。

何もない無人島で仲間と共に生き抜く体験が、子どもたちの「生きる力」を育むと考えています。

人との距離が広がり、職業や働き方、社会そのものが変化している今、自ら何を考え行動していくのか。

人間社会の原点であるアウトドアフィールドは、考える力を育み、本来の人のあり方を学ばせてくれます。

※無人島学校は子どもたちを楽しませる、レクリエーションやお楽しみプログラムは用意していません。自然環境や天候によって過酷な状況も予想されます。場合によっては海に入れない日もあります。

生活を共にするスタッフ



校長 山崎 清治 (やまさん)

生涯学習サポート兵庫理事長。これまでに無人島学校やリアカー縦断の旅など、様々な体験学習プログラムをプロデュース。講演講師・研修ファシリテーターとしても年間200本以上登壇し続けている。



副校長 曾雌 竜太 (そっしー)

株式会社 EDUCAMP 代表。名古屋を拠点として幼児期からの様々な冒険教育・体験学習を通じて、子どもたちの「生きる力」を育むプログラムを実施。チームビルディングやメンタルコーチングも行う。

コーチングスタッフ 4名

事前・事後のコーチングを実施します。また無人島学校本番にも同行し無人島生活が体験だけではなく、一人ひとりのまなびにつながるようサポートします。

プログラムスタッフ 5名

安全管理や健康管理、プログラムのサポートをします。

ファシリテーター 12名/5人1組のグループにつき1名

子どもたちと同じ目線で、無人島生活を共にします。

無人島での体験を日常生活に、まなびに

ワークブック

生活力、炊事体験など日常生活でも活かせることを中心に、無人島学校本番前から練習。事前研修でもサポートします。



事前・事後のオンライン個別コーチング

無人島の経験が一人ひとりのまなびにつながるように、担当コーチが1対1で子どもたちと向き合います。



スケジュール

日程	オンライン事前セミナー：7月23日(土)・30日(土) オンライン事前個別コーチング：8月中(1回) 無人島学校本番：8月14日(日)～21日(日) 7泊8日 オンライン事後個別コーチング：9月・10月・11月(月1回)
場所	松島(兵庫県立いえしま自然体験センター管理：姫路市家島町西島) ※姫路港・JR姫路駅・JR名古屋駅集合・解散
定員	60名 ※合格者が定員を上回った場合は抽選となります。
対象	概ね15歳まで(2007年4月2日以降生まれ)で、 8月14日時点で下記の全てにあてはまる子どもたち ✓ 自分で無人島学校一週間自給自足生活に挑戦したいと思った ✓ ライフジャケットを使用して3分以上水に浮かんでおくこと、25m泳ぐことができる ✓ 参加当日までに、家庭でワークブックの課題に取り組むことができる ✓ 着替え、荷物整理、和式トイレでの排泄、常備薬の服用など生活面の自己管理ができる ✓ 自分の命はもちろん、他人の命や心も大切にすることができるまたは大切にしたいと思っている ✓ どんな時でも最後まで、仲間の中での自分の役割を探し続けることができるまたは探し続けたいと思っている ※障がいやアレルギー体質などで、本プログラムにチャレンジすることへの不安がある方は、ご相談ください。
参加費	一般参加費：143,000円(税込) ひとり親家庭・就学援助世帯応援価格：99,000円(税込) ※別途松島利用料・渡船代(6,000円程度)

エントリー～審査～合格発表までの流れ

エントリー	まずは無人島学校HP募集要項よりエントリー エントリー料として、2,000円が必要です。 
1次審査	【作文】または【動画】による1次審査を行います。 テーマ 「なぜ無人島学校一週間自給自足生活に挑戦するのか」 【作文】200～400字の作文を事務局まで郵送。 【動画】2分以上3分以内の動画を撮影し、フォームにアップロード。
2次審査	オンライン面接を行います。 Zoom(オンライン会議システム)を利用し、 子どものみの個別面接です。(1人15分程度)
合格者発表	参加決定者には参加要項、ワークブックを送付します。 無人島学校オリジナルTシャツ、メスティン、タオル、巾着袋をプレゼント!

6月	25(土) エントリー締切 29(水) 可否通知(メールにて)
7月	① 9(土) 9:00～18:00 オンライン面接 子どものみの個別面接、1人15分程度 ② 10(日) 9:00～18:00 ①②いずれかの日程に参加 13(水) 可否通知 事務局よりメールで通知 15(金) 合格者へ参加要項、ワークブック発送 23(土) ① 10:00～11:30 オンライン事前セミナーⅠ ② 13:30～15:00 ①②いずれかの時間に参加 ・参加者顔合わせ ・アイスブレイク ・ワークブックについて ・無人島に行く意味 ・アクションプラン(行動計画) 30(土) 10:00～11:30 オンライン事前セミナーⅡ ・本番までの流れと準備 ・親子説明会 親子参加
8月	オンライン事前コーチング 『無人島でどんなことを達成したいか、なりたい自分』 14(日)～21(日) 無人島学校本番(7泊8日)
9月	オンライン事後コーチングⅠ 『無人島で学んだこと・気づいた課題』 子どものみ参加
10月	オンライン事後コーチングⅡ 『これから目指したいこと』 子どものみ参加
11月	オンライン事後コーチングⅢ 『これから自分が実現したいこと・行動計画』 子どものみ参加

各自ワークブックに取り組む

各自ワークブックに取り組む



詳細は無人島学校HPをご参照ください。
<http://www.challenge.shosapo.jp/ci>

無人島学校



お問い合わせ

SHOSAPO
NPO法人生涯学習サポート兵庫

〒672-8088 兵庫県姫路市飾磨区英賀西町2-15-2
TEL.079-230-0661
E-mail:info@shosapo.jp